



支援はどういうことに注目してるの？

A. まずは子どもの自己選択や自己決定を大切にします。



支援は、その子どもをひとりの人間として尊重する、というところから始まります。
年齢は関係ないの。
安心できる人に尊重されながら、安心できる場所で過ごせることが前提なのよ。

その次に、その子どもの発達過程や障がいの種別、障がいの特性を理解しようと努めるの。
ちゃんと理解している人の発達支援を通して、子どもがほかの人との信頼関係を築いていく経験が出来る、ということが必要になるのね。

この経験があると、友達と過ごすことが楽しくなったり心地よかったりするわ。
人と関わることの楽しさだったり、コミュニケーションをとる楽しさを感じることができるよう支援していくの。

みんなでする集団活動のときに、こういうことが経験しやすいよね。
どうやって友達になればいいのかよくわからなくても、その方法を一緒に探していくの。

でも友達と遊んでいると、思うようにいなくなったり困ってしまうときがあるわよね。
そんなときに、イライラを調整するちからや、主張するちから、折り合いがつけられるちからを育てることが出来るようにも支援していきます。
子どもの自分で選ぶちから、決められるちからを育てることも大切な支援なのよ。

これはどちらかという個別の支援の範囲に見えるけれど、集団でのプログラムと個別のプログラム、これをうまく組み合わせて支援しているのよ。
ひとりで何かに集中する時間は大切だけれど、みんなと一緒に遊ぶ時間も同じように大切なよ。

どっちかひとつでいい、ということではないのね。

[《MENU》](#)

[《個別支援計画って？](#)

[費用はどれくらいかかるの？》](#)

2020-12-07 掲載